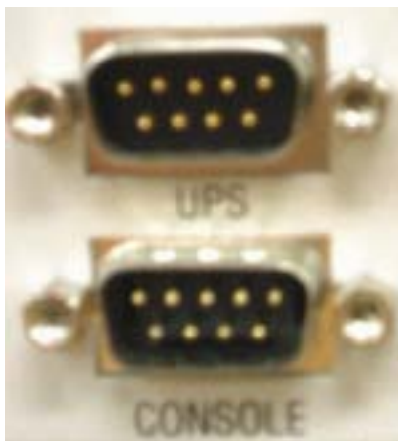


PDU-5115S インターフェース

【RS-232C】メンテナンス用 (DB9P)、UPS 用 (DB9P)



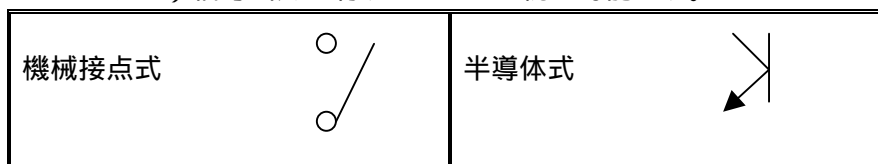
ピン	信号名	UPS 用
1	CD	バッテリー電圧低下
2	RD	未使用
3	SD	負電圧
4	ER	UPS 停止、負 正
5	SG	信号アース
6	DR	停電
7	RS	正電圧
8	N.C	未使用
9	N.C	未使用

メンテナンス用コンソールポート

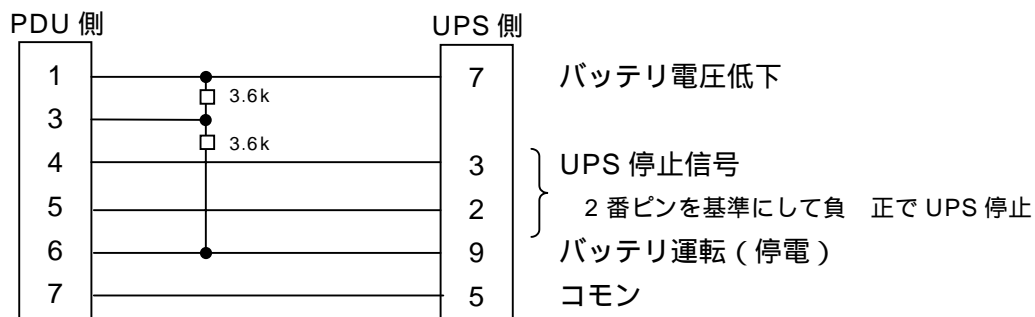
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定が確認できます。
IP アドレスを忘れてしまった時などに使用して下さい。詳細は付録 B を参照して下さい。

UPS 用ポート

UPS の接点 I/F と接続して下さい。以下の様な機械接点式または半導体式 (オープンコレクタ) 信号出力を有する UPS 監視が可能です。



UPS 接続例 東芝 UPS ECE2/3 の場合

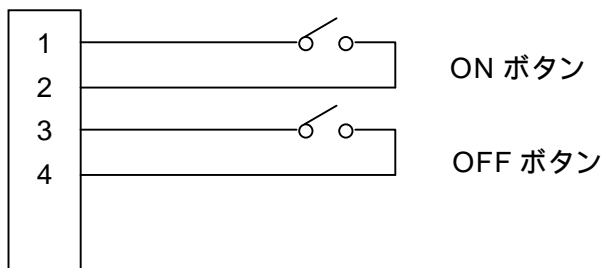


【SW】リモートスイッチ（オプション）接続用（DB-S）

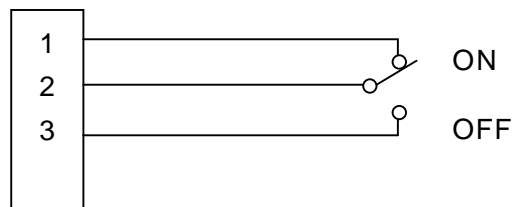


1	ON+
2	ON-
3	OFF+
4	OFF-
5	未使用
6	未使用
7	未使用
8	未使用
9	未使用

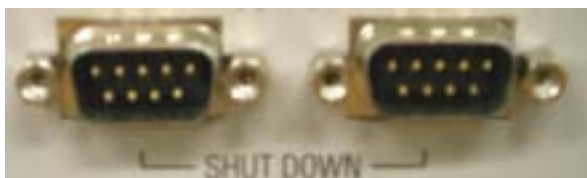
接続例 1



接続例 2

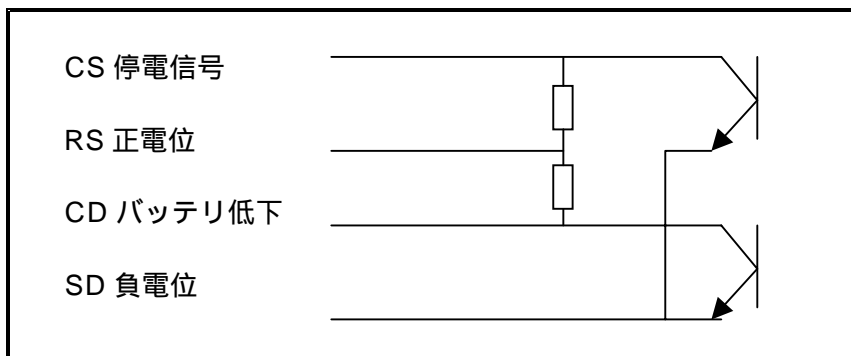


【SHUTDOWN】サーバの OS シャットダウン用 / 起動用（DB9P）

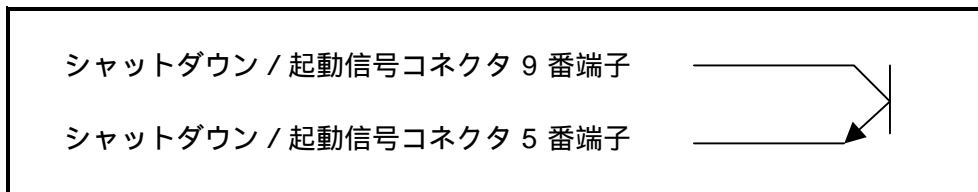


1	未使用
2	負電位
3	未使用
4	バッテリー低下
5	起動信号 GND
6	未使用
7	停電信号
8	正電位
9	起動信号

接点方式の UPS 監視ソフトウェア対応の信号を出力します。



アクション設定で「起動信号」を有効にセットすると、以下に示すオープンコレクタの起動信号を負荷装置に電源供給後、1 秒間出力します。コマンドにて制御する事もできます。



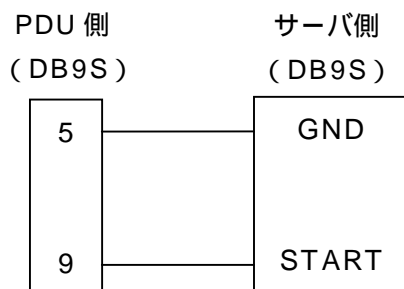
接続例 1)



接続例 2)



接続例 3)



サーバ起動信号
サーバに通電後、START 信号を約 1 秒間送信し、ON させます。